

評価結果



1-1 建物概要

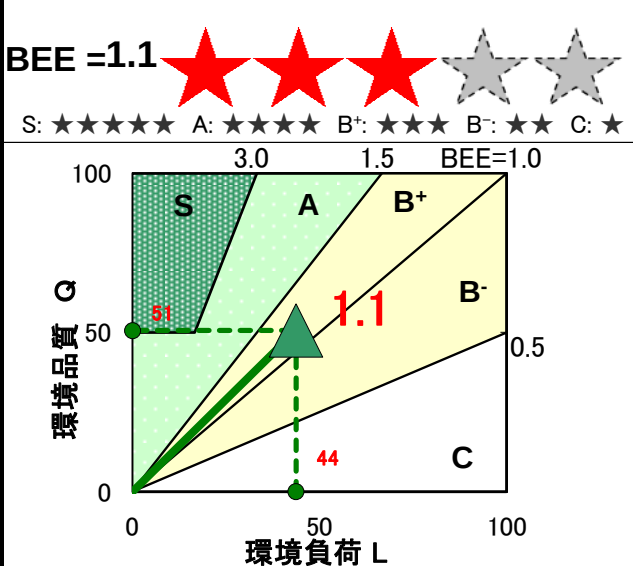
建物名称	崇徳学園新校舎増改築工事
建設地	広島市西区楠木町四丁目29番地の1
用途地域	近隣商業地域、第2種住居地域、準住居地域
気候区分	6地域
建物用途	学校
竣工年	2019年3月 予定
敷地面積	20,866 m ²
建築面積	2,199 m ²
延床面積	6,080 m ²

階数	地上3F
構造	RC造
平均居住人員	1,600 人
年間使用時間	2,400 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年11月1日
作成者	岡田 寛
確認日	2016年11月2日
確認者	山崎栄作

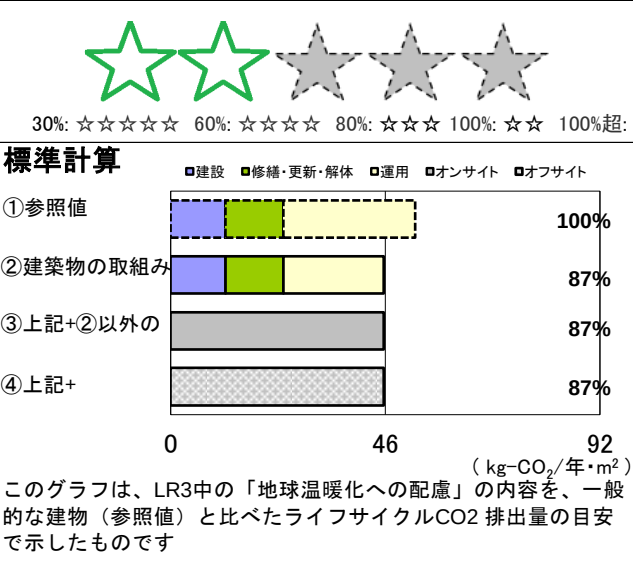
1-2 外観



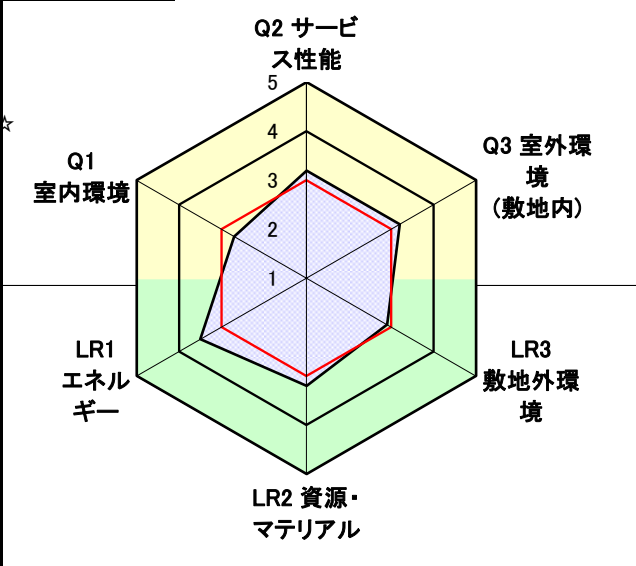
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



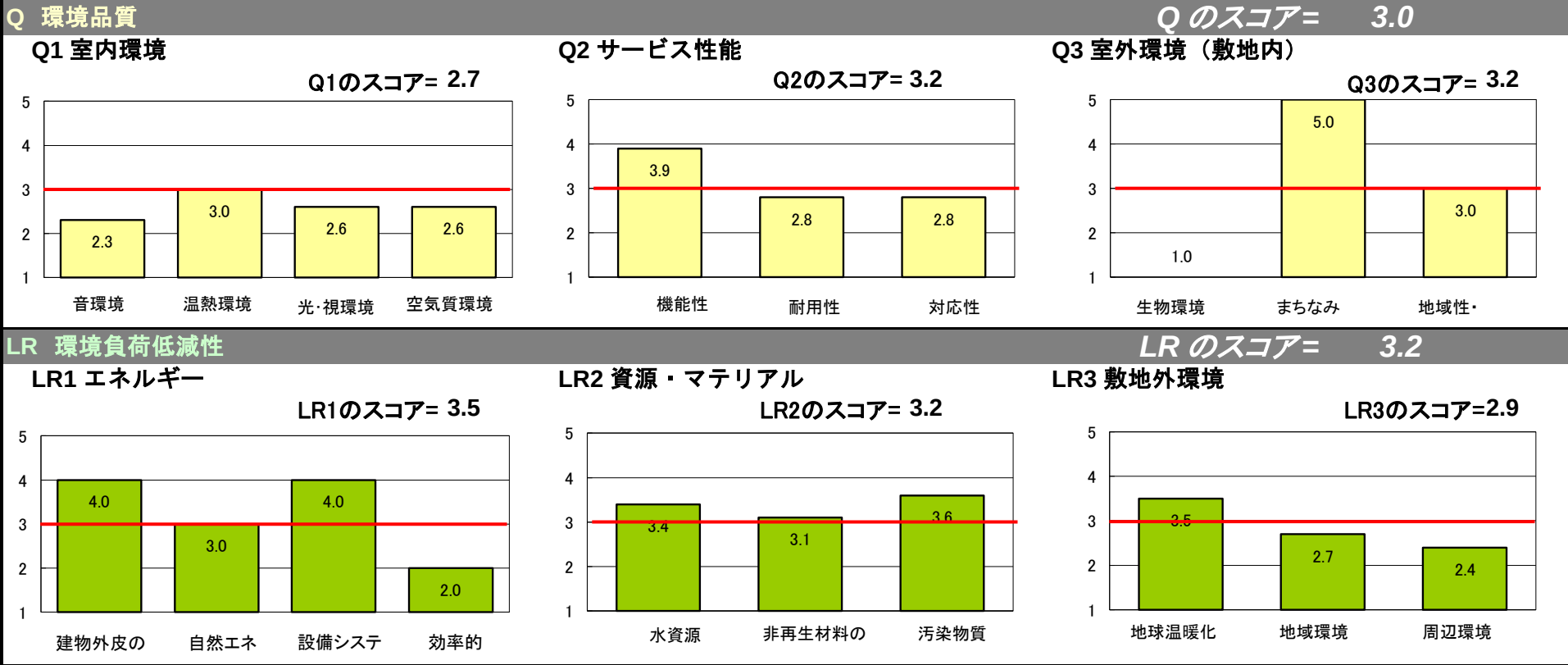
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.0		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.3	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 1.9	「長寿命化対策」の推進 スコア= 2.6
設計の計画上特段に配慮した事項 屋上外断熱や壁面吹付断熱材の採用 / LED照明等の採用 / 節水型便器の採用,自動水洗を採用 / CO ₂ 排出量を87%に抑制	設計の計画上特段に配慮した事項 / 駐輪場、駐車場の確保	設計の計画上特段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される